

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	サイエンス工房		
英文授業科目名			
開講年度	2006年度	開講年次	1、2年次
開講学期	集中講義	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-自由科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	鈴木 勝		
居室	東1-103、106		

公開E-Mail	授業関連Webページ
m-suzuki@e-one.uec.ac.jp	

<p>【主題および達成目標】</p> <p>(a) 主題</p> <p>物理とは“もの”の世界の法則を観測事実に基づいて追求することです。物理を学んでいるときには、つねに学んでいる“もの”の世界のイメージを描いていなければならないのに、“もの”の世界との繋がりをまったく見失っている人が実に多い。これでは物理はつまらないし、またわからないでしょう。わからないから難しいと言うことになるのです。</p> <p>実際には“もの”の世界には面白いことや興味深いことが数限りなくあり、みんな物理の対象です。そこで“もの”に触れることによって物理の面白さを実感してもらうことがこの科目の目的です。そこから物理の奥深さをかいま見ることでもできるでしょう。物理を積極的に学ぶきっかけを得ることができるのではないかと期待しています。</p> <p>(b) 達成目標</p> <p>少なくとも何か1つ作品を作って、その物理を考えて、演示とプレゼンテーションを行うことが目標です。</p>

<p>【前もって履修しておくべき科目】</p> <p>なし</p>
--

電気通信大学 平成18年度シラバス

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】

【授業内容とその進め方】

(詳細は追ってお知らせします。)

5月の土曜日3、4時限に科目の紹介と講師陣の紹介、および今後の作業の進め方について説明を行います。

6月以降は各自の都合のつく時間にL棟1階に出てきて作業を進めます。夏休みに集中的に行ってもよいです。

進行状況をときどきプレゼンテーションしてもらい、問題点の討議を行います。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

11月の調布祭において発表会を行います。この発表によって成績をつけます。

【オフィスアワー：授業相談】

L棟1階または2階に相談を受けることのできる関係者が誰がいることが多いので、いつでも来てください。ときには居ないこともあると思いますが、時間か日を改めてまた来てください。

担当は、鈴木勝、吉安信雄

他にも協力する教員が何人もいます。それぞれの居室、E-Mailは

鈴木：東1 - 103号室：m-suzuki@e-one.uec.ac.jp

吉安：東1 - 313号室：yosh@e-one.uec.ac.jp

【学生へのメッセージ】

物作りの楽しさと考える楽しさを味わってください。

【その他】